

1984

全日本医学生アジア連絡協議会 活動報告書

- 第4回 東日本医学生アジア交流会議
- 第3回 交換留学生プロジェクト
- 第5回 アジア医学生国際会議
フィールドスタディ

全日本医学生アジア連絡協議会

編集後記

はじめに発行が遅れたことをお詫びします。当初の予定では昨年10月末日を締切として12月中に発行しようと努力しましたが、3月初めになって原稿が集まりだして、O.K君（インド留学中）からの最後の原稿を手にしたのが4月24日でした。そのようなわけで編集も十分でなかったかもしれませんが、ご了承下さい。またインドのフィールドに関しては原稿の枚数が多すぎたため、紙面の関係上、責任者の松山さんにまとめてもらいました。

来年度の報告書を作成する時のために、自分の経験を基に二、三提案したいと思います。

1. 編集委員を3名ほど選出する。

（これは一つの大学にかたよると試験期間等のために活動できなくなることもあるため、二つ以上の大学の人のほうが理想的）

2. 今年と同様各テーマごとに責任者を決める。

3. 各テーマの責任者は締切を厳守し、長期間の旅行等の前には事前に編集委員に連絡をとり、活動ができないときは代理の人をたてるようにする。

4. 各個人はそれぞれの担当のレポートを締切までに必ず責任者まで送ること。

以上あたりまえのことと思われるようなことですが、もう一度確認しようと思います。

レポートを書いて下さったみなさん、各責任者、ご苦労さまでした。

最後にわれわれの活動にご理解をいただき、本書製作面で全面的にご協力をお願いし、資金面でも多大のご援助をいただいたメデカルフレンド社に感謝します。

編集責任者・吉田 悌友（順天堂大学熱帯医学研究会）